

構造化抄録フォーム

番号	1-3
タイトル	Parameters of radiologic care: An official report of the American Academy of Oral and Maxillofacial Radiology
著者名	White SC, Heslop EW, et.al
雑誌 年;巻:頁	<i>Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod.</i> 2001 May;91(5):498-511.
目的	AAOMR が推奨する「歯科放射線の4要因」について明らかにし、これを周知すること
研究デザイン	■ guideline
研究施設	American Academy of Oral and Maxillofacial Radiology
内容	<p>歯科放射線の4要因とは、1)放射線学的テクニック、2)顎関節の画像検査、3)顎骨の病変、4)デンタルインプラント、である。</p> <p>4)において、検査法選択のクライテリア、従来型検査の利点欠点、CTについて述べられている。そして、CTの利点を8点、欠点を3点列挙し、これらについて検討を加えている。</p> <p>CTの利点は、1)拡大率が一定、2)ボケのない高いコントラスト、3)人工的な材料が生体材料と区別が容易、4)MPR画像、5)三次元画像、6)多部位をひとつの画像で診断可能、7)短時間の撮影、8)有効な画像評価ソフトの存在、とされている。一方欠点は、1)インプラント部に限ったリコンソフトが限られている、2)高価である、3)高線量である、の3点が挙げられている</p>
コメント	デンタルインプラントに対する歯科診療におけるCTの利点と欠点が明記されている論文である。
記載者	佐野 司、村上秀明